学校番号	3028

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語Ⅲ	6	第３学年	*ELEMENT Ⅲ English communication Ⅲ*（啓林館） SKYWARD 最新入試英語長文 20 選 SKY Course（桐原書店） 入試必携英作文 Write to the Point(数研出版) 共通テストリスニング　分野別 10min. (株式会社エミル出版) 共通テストリスニング　実践 30min.　(株式会社エミル出版) 共通テスト英語模擬演習　40min. (株式会社エミル出版) 必携英語表現集(数研出版)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本校の授業では、最終的に英語が使えるために必要な「総合的な英語力」を伸ばす活動を多く取り入れており、「自律した英語学習者」を育てることを目標としています。そこで、以下の４技能(聞く・読む・話す・書く)に関わる学び方を我々は大切にしています。

1. 先ずは自分で調べてみる。調べ方を教師に聞く。調べても疑問が解消されない場合、教師や友人を大いに頼る。
2. 毎日少しでも英語に触れる。語学学習成功の秘訣は「学習の習慣化」ができるかどうかである。
3. 語彙力を何よりも優先して高めること。語彙力があって初めて英語学習が効果的かつ効率的になる。
4. 声に出して読む、Shadowing を習慣とする。総合的な英語力向上に効果的。
5. 読解は質より量を意識する。読めば読むほど総合的な英語力がつく。
6. 英語を英語のまま理解する。脳内で日本語に訳す習慣や、返り読みを止める。少し易しめの文章を大量に読むこと(多読)や Shadowing から身につけることができる。
7. 積極的に他者とやりとりをする。アウトプットの機会を大切にする。使わなければ、英語力は伸びない。
8. 学びあいの場を大切にする。最も記憶定着率が高く理解度が高いのは、他者に教えた、教えることができたときである。
9. 発表する機会を大切にする。誰でも最初は緊張するが、練習と場数を踏めば自信がついてくる。
10. 基本的な文法を習得し、使える表現を増やしていく。「これって英語でどう表現するのだろう」と疑問に思った際には、すぐに調べ、実際に使ってみることで自然と表現は増えていく。
11. 読書に勤しみ、日本語の力、様々な背景知識、教養を高める。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話される様々な分野の講義（５分程度）や討論等を聞いて、必要に応じてメモを取りながら全体の概要を理解することができる。	・数段落からなる様々なトピックの評論文（全体で 700 語程度）などを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを押さえながら全体の要旨を理解することができる。 ・社会的な話題や時事問題等についての評論文を精読し、情報や論理展開を的確に理解することができる。	・発表を聞き、質問したり、相手を説得するために論理的に自分の意見を述べたりすることができる。 ・新聞やインターネットで読んだり、テレビで見たりしたニュースの要点について情報を交換し、意見交換、議論をすることができる。 ・ある程度なじみのある、または自分の興味や経験の範囲内のトピックなら抽象的であっても議論できる。	・様々なトピックについて、具体例を用いて、論理展開が明確で、説得力のあるプレゼンテーションができ、一連の質問にもある程度流暢に対応することができる。 ・ディベートなどで、社会問題や時事問題に関して論拠を並べ、自分の主張を明確に述べることができる。	・様々なトピックに関して、時間をさほどかけずに、論点を明確にした上で、明確な論理展開の文章を書くことができる。 ・図表の特徴を的確に分析し、それに関して自分の意見を明確に述べることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	ELEMENT Ⅲ Lesson 3 Health and Life Lesson 4 Humans and Technology Lesson 5 Diversity 共通テスト英語模擬演習・リスニング実践 SKYWARD 最新入試英語長文 20 選 SKY Course	聞くこと	a ・文章を聞き取るために必要となる語彙や表現、およびアナウンスや説明、講演で用いられる慣用的な表現の特徴やきまりを理解している。 ・対話やラジオニュースで用いられる表現の特徴やきまりへの理解を基に、 ・弱冷房車についてのアナウンスを聞き取る技能、AI に関するイベントの説明を聞き取る技能、多様性についての講演を聞き取る技能を身に付けている。 b: 上記についてのアナウンスや説明、講演を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 c: 上記についてのアナウンスや説明、講演を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。	観察 ワークブック 定期考査
		読むこと	a:睡眠不足によって引き起こされる健康被害、デジタル化によって変わる人間の記憶力、絵文字から見る多様性や自己表現について理解したり，情報を事実と意見に整理したりしている。 b: 上記についての記事を読み、意見をまとめるために必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握している。 c：上記についての記事を読み、意見をまとめるために必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握しようとしている。	観察 ワークブック 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: ・情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・日本人の睡眠時間の現状とその理由，SDGs との関連、インターネットの良い点・悪い点、イラストが表す内容や，性差による家事労働時間の違いとその理由、について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話し、即興で伝え合う技能を身に付けている。 b ・上記について理解したことを基に、相手からの質問に答えたり、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりしている。 c: ・上記について理解したことを基に、相手からの質問に答えたり、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合おうとしたりしている。	観察 ワークブック 定期考査
		話すこと (発表)	a: ・情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・睡眠不足によって引き起こされる健康被害について、デジタル化によって変わる人間の記憶力について、多様な個人のアイデンティティーが絵文字に表れているかどうか、について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝える技能を身に付けている。 b: ・上記について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えている。 c: ・外国で支援活動を行う日本人や日本の団体について調べて新聞記事を制作し、それを見せながら、多様な語句や文を用いて、情報	観察 ワークブック 定期考査

			や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。 ・学校の環境改善を呼びかけるスピーチをするために、現状や問題点について情報をまとめ、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。	
	四訂版　入試必携英作文 Write to the Point	書くこと	a: 自然な英文となるような主語の決定ができる。また、目的や理由を添えて、より複雑な英文を正確に構成できる。時制の理解を深め、日常生活やアカデミックライティングで使用頻度の高い様々な動詞を正確にしようできる。 b: a で学んだ文法事項を中心に、自由英作文や和文英訳に応用し、より豊かに自分自身の意見を自然な英語で表現できるようになる。 c: 間違いを恐れず、音読、対話やライティング活動を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	観察 和文英訳・自由英作文の成果物 定期考査
	期末考査			
後期	ELEMENT Ⅲ Lesson 6 Education Lesson 7 Miracles of Nature Lesson 8 Sustainable Development 共通テスト英語模擬演習・リスニング実践 SKYWARD 最新入試英語長文 20 選 SKY Course	聞くこと	a: ・文章を聞き取るために必要となる語彙や、対話や会話、発表で用いられる慣用的表現を理解している。 ・対話や会話で用いられる表現の特徴やきまりへの理解を基に、アメリカの大学教授から出された課題についての教授と生徒の会話、自然についてインターネットで見つけた説明、食べ物の保存方法についてのプレゼンテーションを理解する技能を身に付けている。 b: 上記についての会話の概要や要点、詳細、またそれについての発表の概要・要点、詳細を、イラストや表を参考にしながら聞いて捉えている。 c: 上記についての会話の概要や要点、詳細、またそれについての発表の概要・要点、詳細を、イラストや表を参考にしながら聞いて捉えようとしている。	観察 ワークブック 定期考査
		読むこと	a ・5 ドルと 2 時間を元手にしたスタンフォード大学で行われた授業の内容、卵の形の多様性からわかる自然の奇跡について、フードテックにおける技術の進歩について概要や詳細を理解したり，情報を事実と意見に整理したりする。 b ：上記について意見をまとめるために必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えている。 c：上記について意見をまとめるために必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。	観察 ワークブック 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: ・オンライン大学と海外留学のメリットとデメリットの比較、生物の持つ驚くべき能力の中から，どのような能力を人間社会に生かしたらよいかについて、食品廃棄物が生まれる理由を考え，問題解決のために何ができるかについて即興で伝え合う技能を身に付けている。 b: ・上記ついて理解したことを基に、多様な語句や文を用いて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合っている。 c: ・上記ついて理解したことを基に、多様な語句や文を用いて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合おうとしている。	観察 ワークブック 定期考査
		話すこと (発表)	a:オンライン留学と実際の留学の比較、動物の能力を活用した製品、食品廃棄についての原因と対策、について、情報や考えなどを理由や根拠とともに論理的に話して伝える技能を身に付けている。 b 上記について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えている。 c 上記について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。	観察 ワークブック 定期考査
	四訂版　入試必携英作文 Write to the Point	書くこと	a:二項対立の事柄を比較する表現を用いて、より複雑な英文を正確に構成できる。また、グラフ描写に必要な様々な表現を使用できる。 b: a で学んだ文法、表現を中心に、自由英作文や和文英訳に応用できる。また、様々な種類のグラフの変化や特徴に気付き、その変化や特徴を描写するために必要な表現を正確に用いることができる。 c: 間違いを恐れず、音読、対話やライティング活動を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	観察 和文英訳・自由英作文の成果物 定期考査
	後期中間考査			

	ELEMENT Ⅲ Lesson 9 Art and Heart Lesson 10 Human Relationships 共通テスト英語模擬演習・リスニング実践 SKYWARD 最新入試英語長文 20 選 SKY Course	聞くこと	a: ・驚きや感嘆を表す基本的な表現や、歴史的な内容の発表で用いられる表現の特徴やきまりを理解している。 ・驚きや感嘆を表す基本的な表現や、歴史的な内容の発表で用いられる表現の特徴やきまりへの理解を基に、アルブレヒトとアルバートがどのような約束をしたかを理解する技能、マークに関する筆者の思い出を理解する技能、筆者は持っておらず，読者が持っているものとは何かを理解する技能を身に付けている。 b: 上記についての対話の展開や話し手の意図、まとまりのある長さの発表の概要・要点、詳細を、イラスト・写真やキーワードを参考にしながら聞いて捉えている。 c: 上記についての対話の展開や話し手の意図、まとまりのある長さの発表の概要・要点、詳細を、イラスト・写真やキーワードを参考にしながら聞いて捉えようとしている。	観察 ワークブック 定期考査
		読むこと	a: ・アルブレヒトに学校に行くことを勧められたアルバートが泣いた理由、クラスの雰囲気が悪くなったときに筆者がしたこととそれがどのような効果をあげたか、古代・現在・未来において，変わらないものとは何か、を理解している。 b: 上記についての話を読み、内容をまとめるのに必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を捉えている。 c: 上記についての話を読み、内容をまとめるのに必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を捉えようとしている。	観察 ワークブック 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: ・情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 「祈りの手」を見たときに，筆者が読者に思い出してほしいこと、マークの葬式で筆者が知ったことについて、情報や考え、気持ちなどを即興で伝え合う技能を身に付けている。 b: 上記について理解したことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えている。 c: 上記について理解したことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。	観察 ワークブック 定期考査
		話すこと (発表)	a: 情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。アルブレヒトの気持ち、「いたわり」「他人の痛みを感じること」「優しさ」などの，互いを助け合うすばらしい美徳について、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える技能を身に付けている。 b: 上記について理解したことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えている。 c: 上記について理解したことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。	観察 ワークブック 定期考査
	四訂版　入試必携英作文 Write to the Point	書くこと	a:仮定法や比較表現を用いて、より複雑な英文を正確に構成できる。また、譲歩表現を正確に使用できる。 b: a で学んだ文法、表現を中心に、自由英作文や和文英訳に応用できる。自由英作文では、譲歩表現を用いながら多角的な視点で物事を捉えつつ、１００語程度のロジックの強いエッセイを書くことができる。 c: 間違いを恐れず、音読、対話やライティング活動を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	観察 和文英訳・自由英作文の成果物 定期考査

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度